

# 追加機能について

---

ユーザーズガイド

# もくじ

本書について .....	2
--------------	---

## 1 いろいろな追加機能

1.1	プリンタードライバー／ファクスドライバーのインストール (Windows) .....	3
1.2	コピー、スキャン、ファクスの設定項目の並び順を変更する .....	5
1.3	コピー、スキャン、ファクスのオプション設定をお気に入りに登録する .....	6
	お気に入り設定について .....	6
	お気に入り設定を登録する .....	6
	お気に入り設定を呼出す .....	6
	お気に入り設定の内容を変更する .....	7
1.4	カードをスキャンする .....	8
	ID カードのスキャンについて .....	8
	スキャンのしかた .....	8
	原稿サイズを登録する .....	9
1.5	自分宛てにダウンロード URL を送信する (Scan to URL) .....	10
	Scan to URL について .....	10
	操作の流れ：ホーム画面で [スキャン (URL を通知)] を選択する場合 .....	10
	操作の流れ：E-mail 送信画面の登録宛先から [URL] を選択する場合 .....	10
1.6	自分のコンピューターに送信する (Scan to Home) .....	11
	[スキャン (自分へ送信)] について .....	11
	操作の流れ .....	11
1.7	操作パネルで GPL 規約を確認する .....	11
1.8	TWAIN スキャンについて .....	11
1.9	ベーシックスタイルでのプレビュー表示について .....	11
1.10	ボックスに保存可能な文書数 / ページ数について .....	12
1.11	機能検索について .....	12
1.12	i-Option LK-102 について .....	12
1.13	宛先を登録するときの入力項目について .....	12
1.14	コピー、スキャン、ファクスのオプション設定の初期値変更について .....	12
1.15	トラブルシューティングの追加情報 .....	12
	IP アドレスファクスのトラブル .....	12
	用紙種類自動検出のトラブル .....	13
1.16	送信履歴から宛先を指定する説明の訂正 .....	13
1.17	メモリー代行受信機能に関する説明の訂正 .....	13

## 2 管理者向けの追加機能

2.1	OpenAPI/IWS アプリの表示画面のレイアウトを設定する .....	14
2.2	ウィークリータイマーをすべての曜日に一括で設定する .....	14
2.3	コピーのお気に入り設定の変更を禁止する .....	14
2.4	スキャン、ファクスのお気に入り設定の変更を禁止する .....	14
2.5	お気に入り設定の使用を禁止する .....	15
2.6	証明書の暗号鍵の用途がサーバー認証であることを指定する .....	15
2.7	ファクスの設定値を IP 回線に適した設定値に切り換える .....	15
2.8	SSL 通信で使用する SSL バージョンの範囲を設定する .....	15
2.9	パスワード規約を有効にする .....	16
2.10	ユーザー情報を登録するときに管理者権限を付与する .....	16
2.11	ジョブログに関する設定をする .....	17
	syslog 形式のジョブログを作成する .....	17
	syslog 形式のジョブログをダウンロードする .....	17
	syslog 形式のジョブログを消去する .....	17
	syslog 形式のジョブログのメッセージフォーマットを選ぶ .....	17
	ジョブログをサーバーへ自動送信するときを使うプロトコルを選ぶ .....	18
	本機のストレージ容量が 256 GB 未満の場合 .....	18

2.12	本機を再起動する .....	18
2.13	PDF をダイレクト印刷するときの印刷設定を変更する.....	19
2.14	登録アプリケーションに関するショートカットキーについて.....	19
2.15	無線 LAN 通信の認証・暗号化アルゴリズムについて.....	19
2.16	POP 認証のパスワードについて.....	19
2.17	ウイルスが検出されたときに通知する .....	20
2.18	リモートサービスを使用するときの中継サーバーを利用する.....	20
2.19	[メモリー割当て設定] の説明について .....	20
	[メモリー割当て設定] .....	20
2.20	[プリンター印字] の機能制限の補足 .....	20

### 3 i-Option LK-114 (ユビキタスプリント) の追加機能

3.1	i-Option LK-114 (ユビキタスプリント) の変更点 .....	21
3.2	LK-114_ManagerPort.....	21
3.2.1	LK-114_ManagerPort について .....	21
3.2.2	必要なシステム環境 .....	21
3.2.3	LK-114_ManagerPort の設定 .....	22
	プリンターポートの設定 .....	22
	接続先情報の設定 .....	22
	プリンターポートの追加 .....	24
3.3	LK-114_SetupTool .....	25
3.3.1	LK-114_SetupTool について .....	25
3.3.2	必要なシステム環境 .....	25
3.3.3	LK-114_SetupTool の画面構成 .....	25
3.3.4	ユビキタスプリントのグループ構成を設定する .....	27
	ネットワーク上の装置を検索して設定する .....	27
	トポロジー機からグループ情報を取得して設定する .....	27
	保存されている設定ファイルを読み込んで設定する .....	28
3.3.5	LK-114_ManagerPort に読み込むための設定ファイルを作成する.....	28

#### 本書について

本書は、新たに追加または変更された本機の機能について記載しています。

本書で使用している画面は、お使いの製品によって異なります。

# 1 いろいろな追加機能

## 1.1 プリンタードライバー／ファクスドライバーのインストール (Windows)

Windows 環境で使用するドライバーが、様々な機種で使用できる Universal Printer Driver に変更になります。ドライバーの設定項目について詳しくは、ドライバーのヘルプをごらんください。

ここでは、付属のドライバー DVD に格納されているインストーラーを使用して、お使いのコンピューターにドライバーをインストールする手順を説明します。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- ✓ USB 接続で使用する場合は、あらかじめ本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

1 ドライバーの DVD をコンピューターのディスクドライブに挿入します。

2 プリンターのインストールのメニューから、インストールするドライバーを選びます。

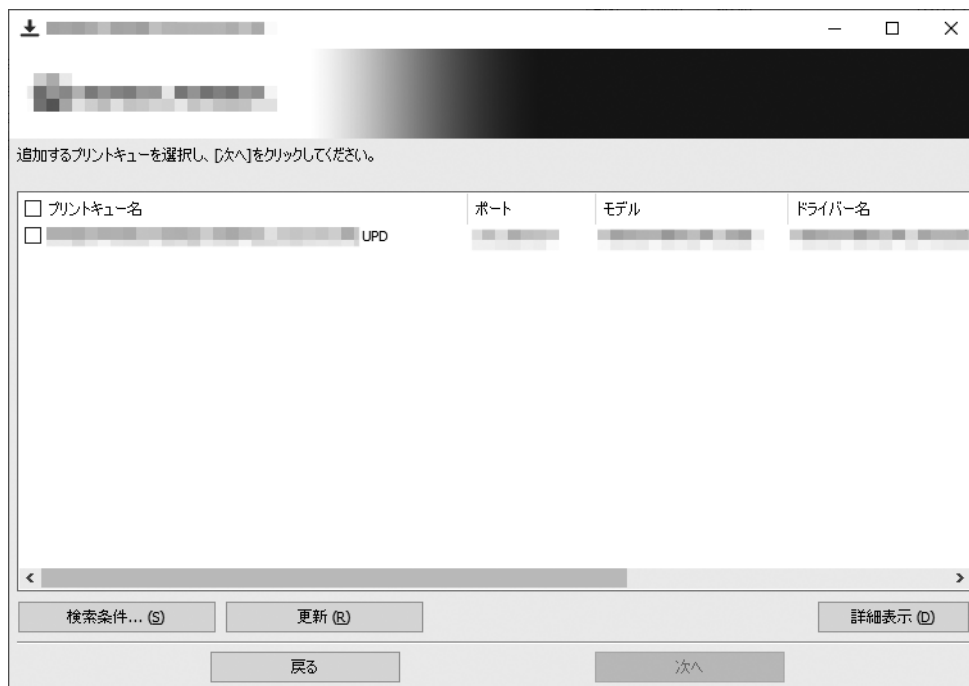
- インストーラーが起動するのを確認し、手順 3 へ進みます。
- インストーラーが起動しない場合は、DVD 内のドライバーのフォルダーを開いて [UPDSetup.exe] (32 ビット環境の場合) または [UPDSetup64.exe] (64 ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
- [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示される場合は、[続行] または [はい] をクリックします。

3 使用許諾契約書を確認し、[同意します] をクリックします。

4 [追加 (ネットワーク検索)] をクリックし、ネットワーク上の装置を検出します。

- [追加 (手動入力)] をクリックすると、手動でプリンターを設定できます。
- お使いのコンピューターに古いドライバーがインストールされている場合は、[標準アップデート] または [カスタムアップデート] をクリックすると、ドライバーをアップデートできます。
- お使いのコンピューターにインストールされているドライバーをアンインストールする場合は、[削除] をクリックします。

- 5 検出された装置のリストから本機を選びます。
- 本機が検出されない場合は、本機を再起動してください。再起動しても検出されない場合は、手順 4 に戻り、[追加 (手動入力)] をクリックします。[リストに追加] をクリックし、手動でプリンターを設定してください。
  - 複数台の同一機種が表示される場合は、IP アドレスで確認してください。本機の IP アドレスは、[設定メニュー] - [装置情報表示] をタップして表示される画面で確認できます。
  - [更新] をクリックすると、再度装置を検索できます。
  - [検索条件] をクリックすると、詳細な検索条件を指定して装置を検索できます。
  - 装置の IP アドレスに対応するポートがある場合は、事前にそのポートを削除してください。



- 6 必要に応じて、[詳細表示] をクリックし、印刷設定の初期値の変更などを行います。
- [プリントキュー名] (プリンター名) : リストで選択した装置の情報から自動で設定されます。
  - [ポート] : プリンターが使用するポートを設定します。
  - [モデル] : リストで選択した装置に対応するモデルが自動で選択されます。
  - [ドライバー名] : リストで選択した装置に対応するドライバーが自動で選択されます。
  - [共有設定・共有名] : プリンターを共有する場合は、[このプリントキューを共有する] にチェックをつけ、共有名を入力します。
  - [管理者設定] : 印刷設定の初期値の変更ができます。初期状態では、両面印刷が初期値として設定されたドライバーがインストールされます。
- 7 [次へ] をクリックします。
- 8 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。

## 1.2 コピー、スキャン、ファクスの設定項目の並び順を変更する

ベーシックスタイルの各モード（コピー、シンプルコピー、スキャン、ファクスなど）の設定項目の並び順を、使いやすいように変更できます。

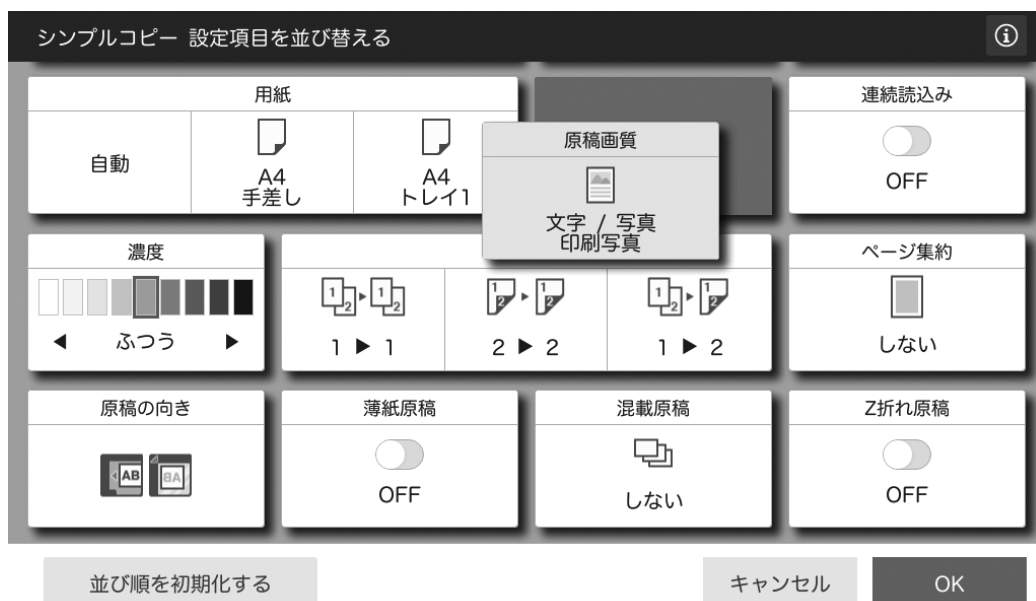
MarketPlace アプリがインストールされている場合は、ログインユーザーごとに設定項目の並び順を変更できます。

- ✓ ユーザー認証が有効で、MarketPlace アプリがインストールされていない場合、設定項目の並び順を変更するには、管理者権限が付与されたユーザーでログインする必要があります。

- 1 ホーム画面で目的の機能キーをタップします。
  - 管理者としてログインしている場合は、手順 4 へ進みます。
  - ユーザーとしてログインしている場合や、ユーザー認証がない場合は、手順 2 へ進みます。
- 2 画面左上のメニューアイコンをタップし、表示されるメニューから [設定項目を並び替える] を選びます。



- 3 管理者パスワードを入力し、[OK] をタップします。
- 4 設定項目の並び順を変更します。
  - 設定項目を移動するには、項目を長押ししてから、目的の位置へドラッグします。目的の位置にグレーのシルエットが表示されたら、長押しを解除します。
  - 並び順を初期状態に戻すには、[並び順を初期化する] をタップします。



- 5 [OK] をタップします。

## 1.3 コピー、スキャン、ファクスのオプション設定をお気に入りに登録する

### お気に入り設定について

ベーシックスタイルの各モード（コピー、シンプルコピー、スキャン、ファクスなど）で使うオプション設定の組み合わせを、お気に入りに登録することができます。よく使う設定内容を登録しておく、簡単に設定を呼出すことができます。

スキャンとファクスのお気に入り設定には、宛先を含めることもできます。

### お気に入り設定を登録する

- 1 ホーム画面で目的の機能キーをタップします。
- 2 オプション設定の値を、お気に入りに登録したい値に変更します。
- 3 画面左上のメニューアイコンをタップし、表示されるメニューから「現在の設定をお気に入りに登録する」を選びます。



- 4 登録情報を設定します。
  - 「お気に入り名」に、お気に入り設定の名前を入力します。
  - 「アイコン」の「>」をタップすると、お気に入り設定のアイコンを選択できます。
  - 「ピン留めする」をオンにすると、お気に入り設定をお気に入り一覧の上部に固定できます。
- 5 「新規登録」をタップします。

### お気に入り設定を呼出す

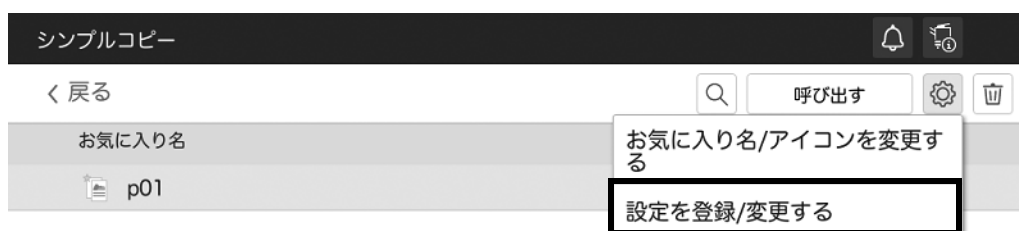
- 1 ホーム画面で目的の機能キーをタップします。
- 2 画面左上のメニューアイコンをタップし、表示されるメニューから「お気に入り一覧を表示する」を選びます。
- 3 呼出したいお気に入り設定を選び、「呼び出す」をタップします。  
お気に入り設定の内容が、オプション設定に反映されます。

### 参考

- お気に入り設定を検索するには、🔍 をタップします。
- お気に入り設定の名前やアイコンを変更するには、お気に入り設定を選択して、⚙️ から「お気に入り名 / アイコンを変更する」をタップします。
- お気に入り設定を削除するには、お気に入り設定を選択して、🗑️ をタップします。

## お気に入り設定の内容を変更する

- 1 お気に入り一覧でお気に入り設定を選択して、 から「設定を登録 / 変更する」をタップします。



- 2 オプション設定の値を変更します。
- 3 画面左上のメニューアイコンをタップし、表示されるメニューから「現在の設定をお気に入りに登録 / 変更する」を選びます。
- 4 設定を上書き保存する場合は、「上書き」をタップします。  
→ 別名をつけて保存する場合は、「お気に入り名」に名前を入力して、「新規登録」をタップします。





## 1.4 カードをスキャンする

### IDカードのスキャンについて

保険証や免許証などの小サイズ原稿を、簡単な操作でスキャン送信できます。

各種カードの任意のサイズを、原稿サイズとして登録しておくことができます。また、読み込んだ原稿データを1つのファイルにまとめたり、個別のファイルに分けたりするなど、目的に応じて集約方法を選べます。

### スキャンのしかた

- 1 ホーム画面で「IDカードをスキャンする」をタップします。
- 2 原稿ガラスにカードをセットします。
  - 読み込む面を下向きにして、原稿を原稿ガラスの左角にセットします。
- 3 原稿サイズを選び、「次へ」をタップします。
  - 登録されている原稿サイズを選択するか、手でサイズを入力します。
  - 原稿サイズの登録内容を変更できます。詳しくは、「原稿サイズを登録する」をごらんください。



- 4 宛先を選び、「次へ」をタップします。
  - E-mail 宛先へ送信する場合は、「スキャン(メール送信)」をタップします。
  - FTP/SMB/WebDAV 宛先へ送信する場合は、「スキャン(PCへ送信)」をタップします。



## 5 必要に応じて、送信のオプション設定をします。


- 読込んだ原稿データのファイルへのまとめ方を、[送り方] で指定できます。  
 [1枚送る]：原稿を1回読込んでファイルを送信します。  
 [ばらばらで送る]：複数の原稿を続けて読み、各原稿を1つずつのファイルにして送信します。  
 [まとめて送る]：複数の原稿を続けて読み、1つのファイルにまとめて送信します。
- 仕上りを確認するには、[プレビューで確認] にチェックをつけます。



## 6 原稿カバーを閉じて、スタートキーをタップします。

- 送信オプションの [送り方] で、[ばらばらで送る] または [まとめて送る] を選んだ場合は、原稿ガラスに次の原稿をセットして [続けて読む] をタップします。送信を開始する場合は、スタートキーをタップします。

## 原稿サイズを登録する

- 1 原稿サイズの  アイコンをタップします。
- 2 原稿サイズの設定方法を選びます。
  - 原稿サイズを既定のサイズから選択する場合は、[プリセットから] を選びます。
  - 原稿サイズを手動で設定する場合は、[手動で設定] を選びます。
- 3 [手動で設定] を選んだ場合は、ガイドイメージ、登録名、サイズを指定して [OK] をタップします。



## 1.5 自分宛てにダウンロード URL を送信する (Scan to URL)

### Scan to URL について

従来クラシックスタイルで使用できた Scan to URL 機能が、ベーシックスタイルでも使用できます。

Scan to URL は、本機で読込んだ原稿データをダウンロードするための URL を、自分のメールアドレス宛に送信する機能です。読込んだ原稿データは E-mail に添付せず、あらかじめ設定した期間、本機のボックスに保存されるため、メールサーバーの送信容量に制限されることなくデータを取得できます。

本機にユーザー認証を導入している場合に、ホーム画面の [スキャン (URL を通知)] キー、または [スキャン (メール送信)] 画面の登録宛先に表示される [URL] キーから操作することができます。

#### 参考

- 認証サーバーとして Active Directory をお使いの場合は、Active Directory に、ユーザーのメールアドレスを登録する必要があります。
- Scan to URL 機能を使うには、本機の設定が必要です。詳しくは、ユーザーズガイドをごらんください。

### 操作の流れ：ホーム画面で [スキャン (URL を通知)] を選択する場合

- 1 原稿をセットします。
- 2 ユーザー情報を入力して、ログインします。
- 3 ホーム画面で [スキャン (URL を通知)] をタップすると、送信を開始します。  
→ オプション設定を変更してから送信する場合は、[スキャン (URL を通知)] 上部のメニューアイコンをタップし、手順 4 へ進みます。



- 4 送信のオプション設定を変更します。
- 5 スタートキーで送信を開始します。

### 操作の流れ：E-mail 送信画面の登録宛先から [URL] を選択する場合

- 1 原稿をセットします。
- 2 ユーザー情報を入力して、ログインします。
- 3 ホーム画面で [スキャン (メール送信)] をタップします。
- 4 [URL] を選びます。
- 5 必要に応じて、送信のオプション設定をします。
- 6 スタートキーで送信を開始します。

## 1.6 自分のコンピューターに送信する (Scan to Home)

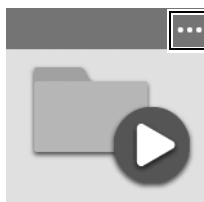
### 〔スキャン (自分へ送信)〕 について

本機で Active Directory によるユーザー認証を導入し、Active Directory にユーザーの Home フォルダが登録されている場合、本機にログインするとホーム画面に〔スキャン (自分へ送信)〕キーが表示されます。

このキーを選択することで、自分の Home フォルダを宛先とした SMB 送信ができます。従来の〔スキャン (PC へ送信)〕から操作する方法よりも簡単に、Scan to Home 機能を使えるようになります。

### 操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 ユーザー情報を入力して、ログインします。
- 3 ホーム画面で〔スキャン (自分へ送信)〕をタップすると、送信を開始します。  
→ オプション設定を変更してから送信する場合は、〔スキャン (自分へ送信)〕上部のメニューアイコンをタップし、手順 4 へ進みます。



- 4 送信のオプション設定を変更します。
- 5 スタートキーで送信を開始します。

## 1.7 操作パネルで GPL 規約を確認する

本機の操作パネルに GPL 規約文を表示します。


Web Connection のユーザーモード (または本機の〔設定メニュー〕 - 〔ユーティリティ〕) の〔情報表示〕 - 〔GPL 規約文書表示〕で表示できます。

## 1.8 TWAIN スキャンについて

本機のストレージ容量が 256 GB 未満の場合でも、お使いになるための準備が整っていれば、TWAIN スキャンを使えるようになります。

## 1.9 ベーシックスタイルでのプレビュー表示について

ホーム画面の〔認証 & プリント〕をタップして表示される画面で、プレビュー表示を使えるようになります。

- 文書の一覧がサムネイル表示の場合は、各サムネイルの右に表示されている  をタップすると、ファイルのプレビュー画像を確認できます。
- 文書の一覧がリスト表示の場合は、ファイルを選んでから、サムネイルが表示されているエリアで〔プレビュー〕をタップすると、ファイルのプレビュー画像を確認できます。

## 1.10 ボックスに保存可能な文書数 / ページ数について

本機のストレージ容量が 256 GB 以上の場合は、ユーザーボックスとシステムボックスで合計 10000 ページの文書を保存できますが、1 ジョブあたりで扱える最大ページ数は 3000 ページとなります。これを超えているジョブについては破棄され、ボックスに文書が保存されません。1 ジョブあたりのページ数にご注意ください。

## 1.11 機能検索について

[設定メニュー] と Web Connection の機能検索で、設定項目名も検索対象に含めます。従来の検索対象であるメニュー名と画面名に加えて、画面内にある設定項目名でも検索できるため、目的の設定画面を見つけやすくなります。

また、以下の検索方法も利用できます。

- 入力したキーワードが半角カタカナ、英字、類似ワードであっても、条件にあてはまれば検索結果が表示されます。  
(例) プリント → プリント、Copy → コピー、ファックス → ファクス

## 1.12 i-Option LK-102 について

i-Option LK-102 の購入が必要であった PDF 処理機能を、i-Option LK-102 を購入することなく標準で使用できます。これにより、i-Option LK-110 は、i-Option LK-102 の機能ライセンスは含まず、i-Option LK-105 の機能ライセンスのみを含むようになります。



### 参考

お使いの製品に PDF 処理機能が用意されているかどうかは、ユーザーズガイドをご確認ください。

## 1.13 宛先を登録するときの入力項目について

宛先を登録／編集するとき、宛先情報を入力する画面で [登録名ふりがな] を入力しなくても宛先の登録／編集を完了できます。

## 1.14 コピー、スキャン、ファックスのオプション設定の初期値変更について

MarketPlace アプリがインストールされている場合、ベーシックスタイルのコピー、スキャン、ファックスのオプション設定について、ログインユーザーごとに初期値を設定できます。

コピー、スキャン、ファックスのオプション設定の初期値を変更するには、各モードの画面左上のメニューアイコンから [現在の設定値を初期値にする] を選びます。

## 1.15 トラブルシューティングの追加情報

### IP アドレスファックスのトラブル

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
IP アドレスファックス受信時、[記録用紙優先選択] を [サイズ固定] に設定し、[記録用紙サイズ] で用紙サイズを指定しても、指定サイズで印刷されない。	送信側で IP アドレスファックスの宛先を指定するとき、[相手先機種] を [カラー機] に設定していませんか？	送信側で IP アドレスファックスの宛先を指定するとき、受信側の装置がカラー機またはモノクロ機に関わらず、[相手先機種] を [モノクロ機] に設定して送信するよう依頼してください。
IP アドレスファックス受信時、[ページ分割記録] をオンにしてもページ分割されず、最初の 1 ページのみ印刷される。	送信側で IP アドレスファックスの宛先を指定するとき、[相手先機種] を [カラー機] に設定していませんか？	送信側で IP アドレスファックスの宛先を指定するとき、受信側の装置がカラー機またはモノクロ機に関わらず、[相手先機種] を [モノクロ機] に設定して送信するよう依頼してください。

## 用紙種類自動検出のトラブル

トラブルの内容	対処方法
紙種が自動検出できない メッセージが表示される。	右ドアを開閉するか、主電源スイッチを OFF/ON してください。 それでもメッセージが消えない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

### 1.16 送信履歴から宛先を指定する説明の訂正

スキャン、ファクスなどの送信機能で宛先を指定するとき、履歴タブをタップすると直前に送信した 5 件の履歴から宛先を指定することができます。主電源の OFF/ON を行ったときの履歴情報の削除に関する説明に誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正させていただきます。

誤（現状の記載）	正
登録宛先の編集や、ボックスの編集、主電源の OFF/ON を行った場合、履歴の情報は削除されます。	ベーシックスタイルでお使いの場合、主電源の OFF/ON を行っても履歴の情報は削除されません。 クラシックスタイルでお使いの場合、主電源の OFF/ON を行うと、履歴の情報は削除されます。

### 1.17 メモリー代行受信機能に関する説明の訂正

ネットワークファクス（インターネットファクス、IP アドレスファクス、IP ファクス（SIP））のメモリー代行受信機能の記載に誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正させていただきます。

誤（現状の記載）	正
インターネットファクスでは、以下の受信機能を利用できます。 ・ 印刷できないファクスを保存／転送する（メモリー代行受信）	インターネットファクスでは、メモリー代行受信機能を利用できません。
IP アドレスファクスでは、以下の受信機能を利用できます。 ・ 印刷できないファクスを保存／転送する（メモリー代行受信）	IP アドレスファクスでは、メモリー代行受信機能を利用できません。
IP ファクス（SIP）では、以下の受信機能を利用できます。 ・ 印刷できないファクスを保存／転送する（メモリー代行受信）	IP ファクス（SIP）では、メモリー代行受信機能を利用できません。

## 2 管理者向けの追加機能

### 2.1 OpenAPI/IWS アプリの表示画面のレイアウトを設定する

OpenAPI アプリと IWS アプリの表示画面のレイアウトを設定します。

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [環境設定] - [OpenAPI・IWS アプリ表示設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[OpenAPI・IWS アプリ表示設定]	サイドメニューを表示するかどうかを選びます（初期値：[サイドメニューを表示しない]）。 サイドメニューを非表示にすると、アプリの表示領域が広がります。

### 2.2 ウィークリータイマーをすべての曜日に一括で設定する

自動で節電モードと通常モードを切替えるウィークリータイマー機能で、すべての曜日に対して同じ動作時刻を一括で設定できます。

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [メンテナンス] - [タイマー設定] - [ウィークリータイマー設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[動作時間設定]	節電モードに切替える時刻（[OFF 時間]）と、通常モードに復帰する時刻（[ON 時間]）を曜日ごとに指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>一括設定：すべての曜日に対して、同じ時刻を一括で設定します。いずれか 1 つの曜日を選択し、[ON 時間] と [OFF 時間] を入力してから、[一括設定] をタップします。複数の曜日が選択されている場合は、一括設定ができません。</li> </ul>

### 2.3 コピーのお気に入り設定の変更を禁止する

登録済みのお気に入りコピー設定の編集、削除を禁止します。

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [セキュリティ] - [お気に入りコピーロック設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[お気に入りコピーロック設定]	変更を禁止するお気に入り設定を選択します。

### 2.4 スキャン、ファクスのお気に入り設定の変更を禁止する

お気に入りスキャン設定とお気に入りファクス設定の登録、編集、削除を禁止します。

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [セキュリティ] - [ユーザー操作禁止設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[登録宛先の変更]	ユーザーに対して、宛先、ベーシックスタイルのお気に入りスキャン設定とお気に入りファクス設定、クラシックスタイルのファクス/スキャンプログラムの登録や変更を許可するかどうかを選びます（初期値：[許可]）。

## 2.5 お気に入り設定の使用を禁止する

ユーザーに対してお気に入り設定の登録や呼出しを禁止するかどうかを設定できます。

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [セキュリティ] - [ユーザー操作禁止設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[プログラム機能の使用]	ユーザーに対して、ベーシックスタイルのお気に入り設定、クラシックスタイルのコピープログラムとファクス/スキャンプログラムの使用を許可するかどうかを選びます（初期値：[許可]）。

## 2.6 証明書の暗号鍵の用途がサーバー認証であることを指定する

作成または発行要求する本機の証明書の暗号鍵の用途がサーバー認証であることを、証明書の拡張情報に含めるかどうかを設定します。

Web Connection の管理者モードの [セキュリティ] - [PKI 設定] - [デバイス証明書設定] - [新規登録] - [証明書を自己で作成しインストールする] または [証明書の発行要求をする] - [拡張キー使用法 (EKU)] で、次の設定をします。

設定	説明
[サーバー認証 (id-kp-serverAuth OID) を指定する]	本機の証明書の暗号鍵の用途がサーバー認証であることを指定する場合は、オンにします（初期値：オフ）。

## 2.7 ファクスの設定値を IP 回線に適した設定値に切り換える

自機または相手機が IP 回線をお使いの場合、ファクス送受信に関する設定値を IP 回線に適した設定値に切り換え、通信品質を改善させます。

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [ファクス設定] - [機能設定] - [IP 回線用推奨設定] で、次の設定をします。複数の回線をお使いの場合は、回線ごとに設定できます。

設定	説明
[回線 1]	ファクス送受信に関する設定値を IP 回線に適した設定値に切り換える場合は、オンにします（初期値：オフ）。オフにすると、オンにする前の設定値に戻ります。

## 2.8 SSL 通信で使用する SSL バージョンの範囲を設定する

SSL 通信を有効にするときに、使用する SSL バージョンの範囲を設定します。

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [セキュリティ] - [PKI 設定] - [SSL 使用設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[SSL/TLS バージョン設定]	使用する SSL バージョンを [最低] と [最高] からそれぞれ選びます。



## 2.9 パスワード規約を有効にする

パスワード規約を有効にする場合は、規約レベルを選びます。

どの規約レベルを選んでも、パスワードに使える文字数、文字種類に制約がかかります。

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [セキュリティ] - [セキュリティ詳細] - [パスワード規約] で、次の設定をします。

設定	説明
[パスワード規約]	<p>パスワード規約を有効にする場合は、規約レベルを選びます（初期値：[無効]）。</p> <p>[複雑度 1] に設定すると、本機で設定するパスワードに対して、次の規約を適用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [パスワード最小文字数] で設定した最小文字数</li> <li>・ 英字の大文字と小文字は区別する</li> <li>・ 記号は、半角記号のみ使用可能</li> <li>・ 同一文字だけのパスワードは禁止する</li> <li>・ 変更前と同じパスワードは禁止する</li> </ul> <p>[複雑度 2] に設定すると、本機で設定するパスワードに対して、次の規約を適用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [複雑度 1] の規約</li> <li>・ 大文字の英字、小文字の英字、数字、記号のうち、いずれか 3 種類を必ず混在させる</li> <li>・ Admin、Public など連想の容易なワードを含むパスワードは禁止する</li> <li>・ [禁止ワード] に登録したワードを含むパスワードは禁止する</li> <li>・ 現在および現在の 1 つ前と同じパスワードは禁止する</li> </ul>
[パスワード最小文字数]	<p>必要に応じて、パスワードの最小文字数を変更します（初期値：[15] 文字）。</p>
[禁止ワード]	<p>パスワードを設定するときに使用を禁止したいワードを登録します。[パスワード規約] で [複雑度 2] を選んだときに登録できます。</p>

### 参考

- 本機の [設定メニュー] - [管理者] からは、[セキュリティ] - [簡単セキュリティ設定] でも設定できます。
- パスワード規約が有効で、かつパスワード規約の対象となるパスワードが規約を満たしているとき、一部を除いてパスワード強度を表示します。どのパスワードがパスワード規約の対象となるかについては、ユーザーズガイドをご確認ください。

## 2.10 ユーザー情報を登録するときに管理者権限を付与する

本機にユーザー情報を登録するとき、ユーザーに管理者権限を付与するかどうかを選びます。

特定の管理者権限を付与する場合には、あわせて権限の種類を選びます。

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [ユーザー認証 / 部門管理] - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [新規登録] - [権限設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[管理者権限]	<p>ユーザーに管理者権限を付与するかどうかを選びます（初期値：[付与しない]）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [全ての権限を付与する]：ユーザーに管理者権限のすべてを付与します。本機の管理者と同様に、管理者設定のすべてを設定できます。</li> <li>・ [特定の権限を付与する]：ユーザーに特定の管理者権限を付与します。あわせて、以下から権限の種類を 1 つ以上選びます。</li> </ul> <p>[セキュリティ管理者権限]：おもに管理者設定の [セキュリティ] を設定できる権限を付与する場合は、オンにします（初期値：オフ）。</p> <p>[ネットワーク管理者権限]：おもに管理者設定の [ネットワーク] を設定できる権限を付与する場合は、オンにします（初期値：オフ）。</p> <p>[認証・宛先情報管理者権限]：おもに管理者設定の [ユーザー認証 / 部門管理] を設定できる権限を付与する場合は、オンにします（初期値：オフ）。</p>



### 参考

[全ての権限を付与する] が設定されているユーザーは、管理者モードでログインすると、他のユーザーに管理者権限を付与するかどうかを選べます。[特定の権限を付与する] が設定されているユーザーは、管理者モードでログインしても、他のユーザーに管理者権限を付与できません。

## 2.11 ジョブログに関する設定をする

### syslog 形式のジョブログを作成する

本機に保存されている syslog 形式のジョブログを、ダウンロードできるようにします。

[セキュリティ] - [ジョブログ設定] - [ジョブログ使用設定] で [使用設定] をオンにして、[送信方法] で [自動 (syslog)] を選んだときに設定できます。

Web Connection の管理者モードの [メンテナンス] - [ジョブログ] - [ジョブログバックアップファイルの作成] で、[OK] をクリックします。



### 参考

未取得のジョブログがある場合は、新しく作成する前にダウンロードしてください。新しくジョブログを作成すると、未取得のジョブログは削除されます。

### syslog 形式のジョブログをダウンロードする

[ジョブログバックアップファイルの作成] で作成したジョブログをダウンロードします。

[セキュリティ] - [ジョブログ設定] - [ジョブログ使用設定] で [使用設定] をオンにして、[送信方法] で [自動 (syslog)] を選んだときに設定できます。

Web Connection の管理者モードの [メンテナンス] - [ジョブログ] - [ジョブログバックアップファイルのダウンロード] で、ダウンロードする場所を選び、[OK] をクリックします。

### syslog 形式のジョブログを消去する

本機に保存されている syslog 形式のジョブログを消去します。

[セキュリティ] - [ジョブログ設定] - [ジョブログ使用設定] で [使用設定] をオンにして、[送信方法] で [自動 (syslog)] を選んだときに設定できます。

Web Connection の管理者モード (または本機の [設定メニュー] - [管理者]) の [セキュリティ] - [ジョブログ設定] - [ジョブログバックアップ消去] で、[OK] を選びます。

### syslog 形式のジョブログのメッセージフォーマットを選ぶ

syslog 形式のジョブログを取得する場合に、ログのメッセージフォーマットを選びます。

各社の SIEM (セキュリティ情報イベント管理) 製品が対応しているフォーマットを選ぶこともできます。

[セキュリティ] - [ジョブログ設定] - [ジョブログ使用設定] で [使用設定] をオンにして、[送信方法] で [自動 (syslog)] を選んだときに設定できます。

Web Connection の管理者モード (または本機の [設定メニュー] - [管理者]) の [セキュリティ] - [ジョブログ設定] - [syslog 送信設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[メッセージフォーマット]	ログのフォーマットを選びます (初期値: [標準])。

## ジョブログをサーバーへ自動送信するときを使うプロトコルを選ぶ

ジョブログをサーバーへ自動送信するための設定をするとき、自動送信で使うプロトコルを最初に選びます。

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [セキュリティ] - [ジョブログ設定] - [自動配信設定] - [基本設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[送信プロトコル]	ジョブログをサーバーへ自動送信するときを使うプロトコルを、[WebDAV] と [SMB] から選びます（初期値：[WebDAV]）。

## 本機のストレージ容量が 256 GB 未満の場合

本機のストレージ容量が 256 GB 未満の場合でも、ジョブログを取得できます。ストレージ容量が 256 GB 以上の場合とは異なり、syslog 形式のジョブログをサーバーへ送信する機能のみ使えます。

- 1 Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [セキュリティ] - [ジョブログ設定] - [ジョブログ使用設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[使用設定]	ジョブログを取得する場合は、オンにします（初期値：オフ）。
[取得ログ種類]	ジョブログの種類ごとに、取得するかどうかを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [課金ログ]：ユーザーや部門ごとに、用紙の使用量に関する情報を取得できます（初期値：オン）。</li> <li>・ [集計ログ]：用紙の使用量や、用紙をどれだけ削減して印刷しているかなどの情報を取得できます（初期値：オン）。</li> <li>・ [監査ログ]：ユーザーの操作やジョブ履歴を取得できます（初期値：オン）。不正行為や情報の漏洩を、後から追跡できます。</li> </ul>

- 2 Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [セキュリティ] - [ジョブログ設定] - [syslog 送信設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[通信プロトコル]	通信プロトコルを選びます（初期値：[UDP]）。
[通信サーバー設定]	送信先サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
[ポート番号]	必要に応じて、ポート番号を変更します（初期値：[514]）。
[メッセージフォーマット]	ログのフォーマットを選びます（初期値：[標準]）。

## 2.12 本機を再起動する

本機を遠隔で再起動します。

Web Connection の管理者モードの [メンテナンス] - [MFP 本体の再起動] で、[OK] をクリックします。



### 参考

再起動開始時に実行中のジョブがある場合は、ジョブの完了後に再起動を開始します。

## 2.13 PDF をダイレクト印刷するときの印刷設定を変更する

PDF ファイルをダイレクト印刷するとき、画質を優先するか、速度を優先するかを選びます。

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [プリンター設定] - [ダイレクトプリント設定] - [PDF 印刷設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[速度優先]	PDF ファイルをダイレクト印刷するとき、速度を優先する場合は、オンにします（初期値：オフ）。画質を優先する場合は、オフにしてください。



### 参考

この機能は、お使いの製品がカラー機の場合に利用できます。

## 2.14 登録アプリケーションに関するショートカットキーについて

本機に OpenAPI アプリケーションを登録している場合、ベーシックスタイルのホーム画面やクラシックスタイルのトップメニューに配置できる登録アプリケーションや登録アプリケーショングループのショートカットキーのアイコンに、SVG 形式のファイルを登録できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

## 2.15 無線 LAN 通信の認証・暗号化アルゴリズムについて

[ネットワーク] - [無線ネットワーク設定] の [認証・暗号化アルゴリズム] で、WPA3 を使用できます。

また、[パスフレーズ] の設定項目名が、[セキュリティーキー] に変更されました。

追加されたアルゴリズムは、以下のとおりです。

設定	追加されたアルゴリズム
[無線子機設定]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• WPA3-SAE</li> <li>• WPA3-EAP (*)</li> <li>• WPA3-EAP 192bit Security (*)</li> </ul> * [ネットワーク I/F 構成] が [無線のみ] に設定されている場合に使用できます。
[無線親機設定]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• WPA3-SAE</li> <li>• WPA2-PSK/WPA3-SAE</li> </ul>

[環境設定] - [システム連携設定] - [モバイル連携設定] - [無線接続使用設定] の [認証・暗号化アルゴリズム] で、WPA3 を使用できます。

また、[パスフレーズ] の設定項目名が、[セキュリティーキー] に変更されました。

追加されたアルゴリズムは、以下のとおりです。

- WPA3-SAE
- WPA3-EAP
- WPA3-EAP 192bit Security

## 2.16 POP 認証のパスワードについて

本機で E-mail を受信するときの POP 認証で使用するパスワードが、半角 64 文字まで指定できます。

POP 認証のパスワードは、Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [ネットワーク] - [E-mail 設定] - [E-mail 受信 (POP)] - [パスワード] で設定します。

## 2.17 ウィルスが検出されたときに通知する

i-Option LK-116（ウィルススキャン機能）を導入している場合、ウィルススキャンによりウィルスが検出されたとき、E-mail や SNMP の TRAP 機能を使ってウィルスが検出されたことを通知できます。

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [メンテナンス] - [状態通知設定] で、通知する警告として [ウィルス検出] にチェックをつけます。

## 2.18 リモートサービスを使用するときに中継サーバーを利用する

リモートサービスを使用するときに、中継サーバーを利用するかどうかを設定します。

中継サーバーを利用する場合は、Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [セキュリティ] - [セキュリティ詳細] - [リモートサービス設定] で、[中継サーバーを使用する] をオンにします。



### 参考

リモートサービスおよび中継サーバーについては、サービス実施店にお問い合わせください。

## 2.19 [メモリー割当て設定] の説明について

ユーザーズガイドに記載されている内容に、補足を追加して改めて説明します。[メモリー割当て設定] を設定するときには、以下の説明を参照してください。

### [メモリー割当て設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者] - [ネットワーク] - [IWS 設定] - [メモリー割当て設定]

IWS アプリの実行環境のうち、どれを優先的に動作させるかを選びます（初期値：[Python 優先]）。

選択した実行環境の IWS アプリに対して、メモリーを多く割当てます。



### 参考

- プリントデータ変換機能、バックグラウンドアプリ機能、アプリ間通信を使用しない場合は、[Node.js 優先] を選ぶことで、Node.js 環境で動作する IWS アプリケーションへメモリーを多く割当てることができ、多くの Node.js 環境で動作する IWS アプリケーションの利用が可能になります。  
目的のアプリケーションが Node.js 環境で動作するアプリケーションかどうかは、[ネットワーク] - [IWS 設定] - [アプリケーション一覧] の [状態] に有効 / 無効の表示があるかどうかを確認します。有効 / 無効の表示がある場合、Node.js 環境で動作するアプリケーションです。
- [プリントデータ変換機能設定]、[バックグラウンドアプリ設定]、[アプリ間通信許可設定] が有効となっている場合、[Node.js 優先] を選ばません。また、[Node.js 優先] を選んでいる場合、[プリントデータ変換機能設定]、[バックグラウンドアプリ設定]、[アプリ間通信許可設定] を有効にできません。
- プリントデータ変換アプリケーション、バックグラウンドアプリケーションをインストールした場合、設定値が [Python 優先] に変更される可能性があります。

## 2.20 [プリンター印字] の機能制限の補足

Web Connection の管理者モード（または本機の [設定メニュー] - [管理者]）の [ユーザー認証 / 部門管理] - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] の [機能制限] で [プリンター印字] を制限すると、通常印刷のほか、USB メモリーからの印刷も制限されます。

## 3 i-Option LK-114（ユビキタスプリント）の追加機能

### 3.1 i-Option LK-114（ユビキタスプリント）の変更点

ユビキタスプリント機能で使用する以下のアプリケーションが更新されました。ここでは、各アプリケーションにおいて追加／変更された内容を中心にアプリケーションの使い方を説明しています。

- LK-114\_ManagerPort
- LK-114\_SetupTool



- お使いの製品にユビキタスプリント機能が用意されているかどうかは、ユーザーズガイドをご確認ください。

### 3.2 LK-114\_ManagerPort

#### 3.2.1 LK-114\_ManagerPort について

LK-114\_ManagerPort は、お使いのコンピューターからユビキタスプリントグループ内の任意のストレージ機に対して、印刷ジョブを送信するためのアプリケーションです。

LK-114\_ManagerPort では、ユビキタスプリントで使用するプリンターポートの設定や、ユビキタスプリントの接続先情報の設定を行います。

#### 3.2.2 必要なシステム環境

対応 OS に以下が追加されました。

- Windows Server 2012 Standard
- Windows Server 2012 R2 Standard
- Windows Server 2016 Standard
- Windows Server 2019 Standard

必要なライブラリが以下に変更されました。

- Microsoft .NET Framework 4.5 以降のみ

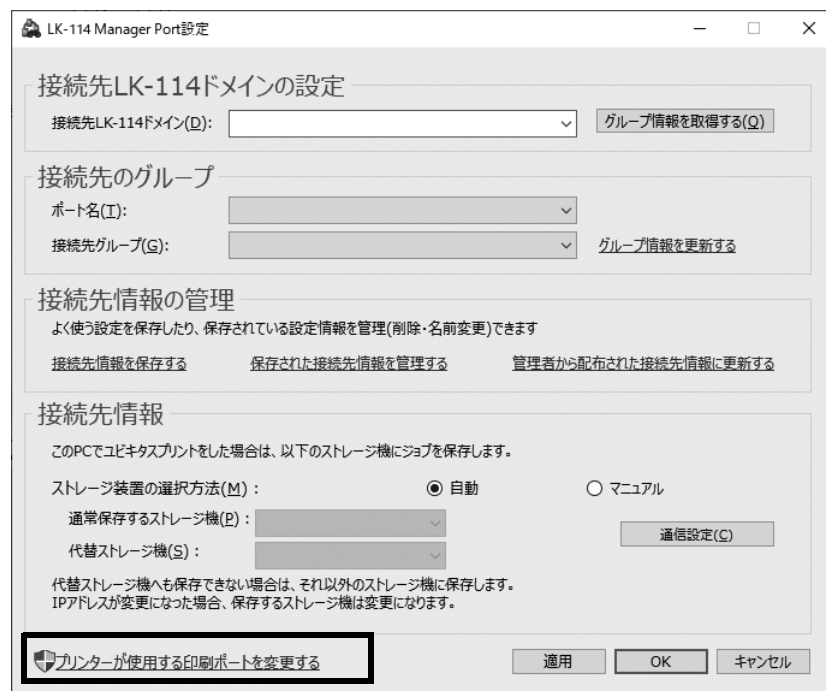
### 3.2.3 LK-114\_ManagerPort の設定

#### プリンターポートの設定

お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバーに対して、使用するポートの変更を行います。

- ✓ LK-114\_ManagerPort のインストールについては、ユーザーズガイドをごらんください。
- ✓ プリンターが使用するポートを変更するには、コンピューターの管理者権限が必要です。

- 1 LK-114\_ManagerPort の設定画面を表示します。
  - Windows のアプリケーション一覧から [LK-114 Manager Port 設定] をクリックします。
  - LK-114\_InstallTool の場合は、LK-114\_InstallTool のインストール対象選択画面から LK-114\_ManagerPort の設定画面を表示します。
- 2 [プリンターが使用する印刷ポートを変更する] をクリックします。



- 3 使用するプリンターのポートを [LK-114\_ManagerPort] に変更し、[OK] をクリックします。プリンターポートの設定が完了したら、接続先情報を設定します。

#### 接続先情報の設定

お使いのコンピューターからの印刷ジョブの送信先に設定するユビキタスグループを指定します。

アプリケーション上で接続先情報を管理することにより、ユビキタスプリントを実行する場所に応じて、接続先のユビキタスグループを切替えることもできます。

- ✓ LK-114\_ManagerPort のインストールについては、ユーザーズガイドをごらんください。

- 1 LK-114\_ManagerPort の設定画面を表示します。
  - Windows のアプリケーション一覧から [LK-114 Manager Port 設定] をクリックします。
  - LK-114\_InstallTool の場合は、LK-114\_InstallTool のインストール対象選択画面から LK-114\_ManagerPort の設定画面を表示します。

- 2 [接続先 LK-114 ドメインの設定] で、接続先に設定するドメイン（トポロジー機の IP アドレス）を指定します。
- 接続先に設定するドメインを直接指定する場合は、接続するトポロジー機の IP アドレスを入力し、[グループ情報を取得する] をクリックします。指定したトポロジー機と通信し、ドメイン内のユビキタスグループ情報を取得します。
  - [接続先情報の管理] で接続先情報を管理している場合は、ドロップダウンリストから接続先のドメインを選ぶことができます。
  - 管理者から接続先情報の設定ファイルが配布されている場合は、[接続先情報の管理] で [管理者から配布された接続先情報に更新する] をクリックし、読み込む設定ファイルを指定します。

- 3 [接続先のグループ] で、接続先に設定するユビキタスグループを指定します。
- [ポート名] で、使用するプリンターポートを指定します。
  - [接続先グループ] には、[ポート名] で指定したプリンターポートに割当てられているユビキタスグループが表示されます。割当てを変更する場合は、接続先のユビキタスグループを指定します。
- 4 [接続先情報] で、印刷ジョブを保存するストレージ機を指定します。
- [ストレージ装置の選択方法] で、通常保存するストレージ機と代替ストレージ機の選択方法を選びます。  
[自動] を選択した場合は、ストレージ機に設定されている装置の稼働状況に応じて、印刷ジョブを保存するストレージ機が自動で選択されます。  
[マニュアル] を選択した場合は、通常保存するストレージ機と代替ストレージ機を手動で指定します。
  - 必要に応じて [通信設定] をクリックし、ストレージ機と通信するための SNMP 設定または OpenAPI 設定を設定します。
- 5 ユビキタスプリントを実行する場所に応じて接続先を切替える場合は、[接続先情報の管理] で接続先情報を保存しておきます。
- 接続先情報を保存する場合は、[接続先情報を保存する] をクリックします。管理されている接続先情報を変更した場合は、[接続先情報を保存する] をクリックすると上書き保存されます。
  - [保存された接続先情報を管理する] をクリックすると、接続先情報の管理画面が表示されます。接続先名を変更したり、接続先情報を削除したりすることができます。
- 6 [適用] または [OK] をクリックし、設定を保存します。
- [OK] をクリックすると、設定を保存してアプリケーションを終了します。



## プリンターポートの追加

プリンタードライバーのプロパティ画面の「ポート」タブで、ユビキタスプリントで使用するポートを追加できます。複数のポートを作成すれば、LK-114\_ManagerPort の設定画面で、接続先に設定するユビキタスグループをポートごとに分けることができます。

✓ ポートを追加するには、コンピューターの管理者権限が必要です。

- 1 「コントロールパネル」から「デバイスとプリンター」を表示します。
- 2 プリンターのプロパティを開きます。  
→ インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。
- 3 「ポート」をクリックします。
- 4 「ポートの追加」をクリックします。
- 5 「LK-114\_ManagerPort Monitor」を選択し、「新しいポート」をクリックします。
- 6 ポート名を入力し、「OK」をクリックします。

## 3.3 LK-114\_SetupTool

### 3.3.1 LK-114\_SetupTool について

LK-114\_SetupTool は、ユビキタスプリント環境の構築を行うためのアプリケーションです。

LK-114\_SetupTool で管理しているユビキタスグループの構成情報から、LK-114\_ManagerPort に読み込むための設定ファイルを作成することもできます。



#### 参考

別アプリケーションの LK-114\_Editor for SetupTool は、LK-114\_SetupTool に統合されました。これにより装置がオフライン状態でも、LK-114\_SetupTool でユビキタスプリントの設定ができます。ただし、オフライン状態の装置に対する変更は、装置がオンライン状態のときに手動で適用する必要があります。

### 3.3.2 必要なシステム環境

必要なライブラリが以下に変更されました。

- Microsoft .NET Framework 4.5 以降のみ

### 3.3.3 LK-114\_SetupTool の画面構成

LK-114\_SetupTool の画面は、次のように構成されています。



項目	説明
[機能バージョン]	使用するユビキタスプリントの機能バージョンを選びます。

項目	説明
[装置設定情報]	<p>ユビキタスプリント環境に組込む装置の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ユビキタスグループ名]：装置を追加するユビキタスグループの名前を入力します。</li> <li>• [装置 IP アドレス / ホスト名]：装置の IP アドレスまたはホスト名を入力します。</li> <li>• [管理者パスワード]：装置の管理者パスワードを入力します。</li> <li>• [OpenAPI ユーザー名]：装置の OpenAPI 認証のユーザー名を入力します。</li> <li>• [OpenAPI パスワード]：装置の OpenAPI 認証のパスワードを入力します。</li> <li>• [ストレージ機能]：ストレージ機能を有効にするかどうかを選びます。</li> <li>• [印刷後のドキュメント削除]：ストレージ機に蓄積されたジョブが印刷された時点で、ジョブを自動的に削除するかどうかを設定します。</li> <li>• [ドキュメントの有効期限]：ストレージ機に蓄積されたジョブを自動的に削除するまでの時間を設定します。</li> <li>• [IPP タイムアウト (秒)]：IPP を使用して印刷するときのタイムアウト時間を設定します。</li> <li>• [クライアント機能]：クライアント機能を有効にするかどうかを選びます。</li> <li>• [プロトコル設定]：ユビキタスプリントで使用するプロトコルを選びます。</li> <li>• [タイムアウト (秒)]：ストレージ機へ接続するときのタイムアウト時間を設定します。</li> <li>• [トポロジー機能]：トポロジー機能を有効にするかどうかを選びます。</li> <li>• [タイムアウト (トポロジー機から) (秒)]：装置をトポロジー機として使用する場合に、トポロジー機からの通信のタイムアウト時間を設定します。</li> <li>• [タイムアウト (トポロジー機へ) (秒)]：装置をストレージ機やクライアント機として使用する場合に、トポロジー機への通信のタイムアウト時間を設定します。</li> </ul>
[追加]	[装置設定情報] に表示されている装置情報を、リストの最後に追加します。
[適用]	[装置設定情報] に表示されている装置情報を、リストで選択している装置情報に適用し、リストの内容を更新します。
[削除]	リストで選択している装置情報を削除します。
[装置を検索]	ネットワーク上のユビキタスプリント機能が有効になっている装置を検索し、リストに表示します。 [機能バージョン] で選択されているユビキタスプリントの機能バージョンが有効になっている装置が検索対象となります。
[装置に設定を適用]	リストの内容を装置に適用し、装置の設定を更新します。
[TM 装置から設定を取得]	指定したトポロジー機と通信してドメイン内のユビキタスグループ情報を取得し、リストに表示します。 [機能バージョン] が [v4] の場合に利用できます。
[設定ファイル読み込み]	LK-114_SetupTool を終了するとき保存した設定ファイルを読み込みます。
[Manager Port 設定ファイル作成]	LK-114_ManagerPort に読み込むための設定ファイルを作成します。 [機能バージョン] が [v4] の場合に利用できます。
装置リスト	ユビキタスプリント環境で使用する装置の情報を表示します。

### 3.3.4 コピキタスプリントのグループ構成を設定する

#### ネットワーク上の装置を検索して設定する

- 1 LK-114\_SetupTool の実行ファイルを起動します。
- 2 [装置を検索] をクリックします。  
コピキタスプリント機能が有効になっている装置がリストに表示されます。
- 3 [装置設定情報] で装置情報の設定を行い、リストの内容を更新します。
  - リスト内の装置情報を変更する場合は、目的の装置情報を選択してから [装置設定情報] の設定を変更し、[適用] をクリックします。
  - リストに新しく装置情報を追加する場合は、[装置設定情報] で追加する装置の情報を設定し、[追加] をクリックします。
  - リストから装置情報を削除する場合は、目的の装置情報を選択してから [削除] をクリックします。
- 4 リストの内容を装置に適用する場合は、[装置に設定を適用] をクリックします。
- 5 設定が完了したら、LK-114\_SetupTool を終了します。  
リストが更新されている場合、LK-114\_SetupTool の終了時にファイル保存画面が表示され、設定ファイルを保存できます。LK-114\_SetupTool の次回起動時に設定ファイルを読み込むことができます。

#### トポロジー機からグループ情報を取得して設定する

- 1 LK-114\_SetupTool の実行ファイルを起動します。
- 2 [TM 装置から設定を取得] をクリックします。
- 3 設定を取得するトポロジー機の IP アドレス、OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードを入力し、[取得] をクリックします。  
ドメイン内のコピキタスグループ情報がリストに表示されます。
- 4 [装置設定情報] で装置情報の設定を行い、リストの内容を更新します。
  - リスト内の装置情報を変更する場合は、目的の装置情報を選択してから [装置設定情報] の設定を変更し、[適用] をクリックします。
  - リストに新しく装置情報を追加する場合は、[装置設定情報] で追加する装置の情報を設定し、[追加] をクリックします。
  - リストから装置情報を削除する場合は、目的の装置情報を選択してから [削除] をクリックします。
- 5 リストの内容を装置に適用する場合は、[装置に設定を適用] をクリックします。
- 6 設定が完了したら、LK-114\_SetupTool を終了します。  
リストが更新されている場合、LK-114\_SetupTool の終了時にファイル保存画面が表示され、設定ファイルを保存できます。LK-114\_SetupTool の次回起動時に設定ファイルを読み込むことができます。

## 保存されている設定ファイルを読み込んで設定する

✓ LK-114\_SetupTool を終了するときに保存した設定ファイルのみ読み込むことができます。

- 1 LK-114\_SetupTool の実行ファイルを起動します。
- 2 [設定ファイル読み込み] をクリックします。
- 3 読み込む設定ファイルを指定します。  
設定ファイルに記載されているコピキタスグループの構成情報がリストに表示されます。
- 4 [装置設定情報] で装置情報の設定を行い、リストの内容を更新します。
  - リスト内の装置情報を変更する場合は、目的の装置情報を選択してから [装置設定情報] の設定を変更し、[適用] をクリックします。
  - リストに新しく装置情報を追加する場合は、[装置設定情報] で追加する装置の情報を設定し、[追加] をクリックします。
  - リストから装置情報を削除する場合は、目的の装置情報を選択してから [削除] をクリックします。
- 5 リストの内容を装置に適用する場合は、[装置に設定を適用] をクリックします。
- 6 設定が完了したら、LK-114\_SetupTool を終了します。  
リストが更新されている場合、LK-114\_SetupTool の終了時にファイル保存画面が表示され、設定ファイルを保存できます。LK-114\_SetupTool の次回起動時に設定ファイルを読み込むことができます。

### 3.3.5 LK-114\_ManagerPort に読み込むための設定ファイルを作成する

LK-114\_SetupTool で管理しているコピキタスグループの構成情報から、LK-114\_ManagerPort に読み込むための設定ファイルを作成します。

- 1 LK-114\_SetupTool の実行ファイルを起動します。
- 2 リストの内容を、設定ファイルとして保存したい内容に更新します。
- 3 [Manager Port 設定ファイル作成] をクリックします。
- 4 保存先のフォルダーとファイル名を指定して設定ファイルを保存します。



#### 参考

作成した設定ファイルは、LK-114\_ManagerPort の [接続先情報の管理] から読み込みます。







AA2J-9655-00